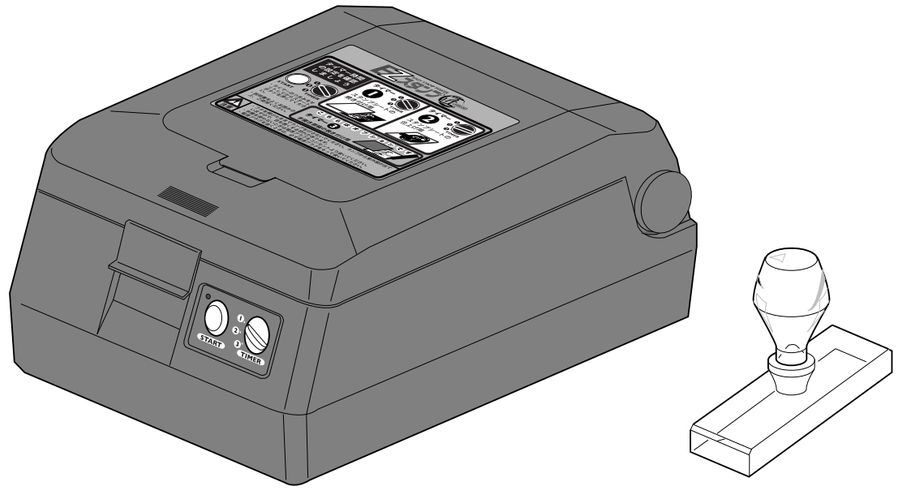
TAIYO-SEIKI

EASY STAMP MAKER EZスタンプ匠 TAKUMI

取扱説明書



このたびはＥＺスタンプ匠をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用になる前にこの取扱説明書をお読みになり、よくご理解いただいた上で本機の操作、保守を行ってください。
またいつでもお読みになれるように保管場所を決めてご活用ください。

製造・発売元/**太陽精機株式会社ホリゾン事業部**
〒180−0005　東京都武蔵野市御殿山1−6−4
TEL　0422（48）5119（代）　FAX　0422（48）5009
京都事業所
〒601−8204　京都市南区久世東土川町242
TEL　075（921）9225　FAX　075（921）9217
オリジナルプリントホームページ：http://www.taiyoseiki.com

UM107137−01
110728/EZスタンプ匠/01J/HN/DV

あらかじめご承知いただきたいこと

この取扱説明書は、本製品をお使い頂くためのガイドブックです。本製品を初めてお使い頂く方はもちろん、すでに使用経験をお持ちの方も知識や経験を再確認する上でお役に立つものと考えております。この取扱説明書をよくお読みになり、内容をご理解された上でお使いくださいますようにお願いします。また、この説明書を手元に置かれて作業されることをお勧めします。

この製品は改良のために、仕様を変更する場合があります。このため、同一製品においても、「取扱説明書」の記載内容の異なる場合もあり得ますので、製品ごとの「取扱説明書」を混同して使用しないでください。

製品またはこの取扱説明書の内容についてのご質問は、下記までお問い合わせください。

製造・発売元 / **太陽精機株式会社ホリゾン事業部**
〒 180-0005　東京都武蔵野市御殿山 1-6-4
TEL　0422 (48) 5119(代)　FAX　0422 (48) 5009
京都事業所
〒 601-8204　京都市南区久世東土川町 242
TEL　075 (921) 9225　FAX　075 (921) 9217
オリジナルプリントホームページ：http://www.taiyoseiki.com

安全についてのご注意

本製品を安全にご使用いただくには、この取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解されるまで、作業を行わないでください。

取扱説明書に示した操作法および安全に関する注意事項は、本製品を指定の方法で使用する場合に有効なものです。この取扱説明書外の使用、取扱いを行う場合の安全に対する配慮は、すべてご自分の責任とお考えください。

この取扱説明書及び製品への表示では、製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	もしお守りいただかないと、人身事故につながる可能性のある注意事項は「警告」という見出しで掲げてあります。
⚠ 注意	もしお守りいただけないと、機械の破損や故障につながる可能性のある注意事項は「注意」という見出しで掲げてあります。

[絵表示の意味]

△　絵表示は警告・注意を促す内容があることを示すものです。

⃠　絵表示は禁止の行為であることを示すものです。

❗　絵表示は行為を規制したり指示する内容を示すものです。

重要	誤って操作すると、トラブルが起こったり、また始めから作業を行っていただくことになる可能性があります。必ず、お読みください。
ポイント	操作上のコツやノウハウについて説明しています。
補足	本製品を使ううえで、知っておくと役に立つ情報を説明しています。
注記	この内容を無視すると、トラブルを引き起こす可能性があります。

安全に対する基本的な注意事項

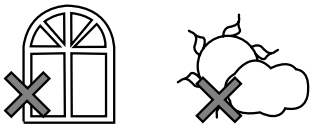
ご使用上の警告	
	フタをあけたままでランプを灯さないでください。ランプから紫外線が出て、目を悪くする可能性があります。
	この機器は分解しないでください。内部には電圧の高い部分があり感電の可能性があります。また、故障のときは、速やかに弊社に修理を依頼してください。
	ぐらついた台や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。 落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
	長時間本機をつかわないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントより抜いてください。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。 コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。(必ずプラグを持って抜いてください。)
	洗い出し中に、はね返った液が眼に入った場合は流水で十分洗い流し、眼科医の処置を受けてください。

ご使用上の注意	
	水銀灯、ハロゲンランプ、ビームライト、スポットライト、外来光の入る （窓のある部屋) ところで焼き付け作業はしないでください。
	お手入れの際は、シンナーやベンジンなどは使用しないでください。ケースの変形や変色の原因になります。
	ランプボックスのフタをつかんで持ち上げないでください。 フタが破損し使えなくなります。
	次のような場所でのご使用や保存はおやめください。 ・ 直射日光のあたるところ。 ・ ほこりの多いところ。 ・ 振動の多いところ。 ・ ストーブやスチームの近くなど、極端に温度や湿度の高いところ。 ※ご使用の目安となる温度、湿度はそれぞれ 10 ～ 35 ℃、20 ～ 80%です。10 ℃以下で使用するとランプが安定して点灯せず、焼き付け不良が出る可能性があります。
	使用後は、ランプボックスのフタは軽くのせるだけにしてください。 (パチンと音がするまでしっかりしめると、スポンジマットが変形して密着度が悪くなります。)

★イラスト等をコピーするとき、著作権、商標権等に低触するものもあります。ご注意ください。

きれいなスタンプをつくるためにお守りいただきたいこと

●スタンプシートを扱うときは、窓に厚手のカーテンをして紫外線を防いでから作業してください。
外来光のあたる場所（窓のある部屋）では、曇りや雨の日でも
紫外線が入ってスタンプシートが感光してしまいます。



●水銀灯、ハロゲンランプ、ビームライト、スポットライトのある場所で焼き付け・洗い出し作業はしないでください。

●電灯 (白熱、蛍光灯）の真下をさけて手早く作業を行ってください。

●スタンプシートは購入後 6 か月以内にお使いください。また、開封後はできるだけ早くお使いください。（ただし、高温多湿のところでは 6ヶ月以内であっても劣化することがあります。保管場所にご注意ください。）
スタンプシートは使用後すぐに袋に戻し、ファスナーを閉めてください。

●デザインシートは折り曲げたり、傷つけたりしないようご注意ください。

●室温が20℃以下のときは、ランプボックスを安定させるために、使用前にスタートボタンを押して
2 ～ 3 分間ランプを灯してください。
このとき未使用のシートには光があたらないようにしてください。

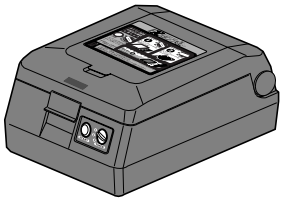
●収納するときは、ランプボックスのふたは軽くのせる程度にしてください。
フタをしっかりしめると、スポンジマットが変形して、密着度が悪くなります。

目次

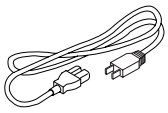
あらかじめご承知いただきたいこと 1
安全についてのご注意 2
安全に対する基本的な注意事項 3
きれいなスタンプをつくるためにお守りいただきたいこと 4
セット内容 6
各部のなまえとはたらき・仕様 7
スタンプのつくり方の概要 8
デザインシートをつくる 9
スタンプシートを焼き付ける 10
スタンプシートを洗い出す 12
スタンプシートを仕上げる 14
台木に貼り付ける 15
手描きイラストなどをスタンプにするとき（匠専用手描きセットの使い方）. . . 17
スタンプがうまくつくれなかったとき 21
EZ スタンプ匠の消耗品と別売品 24

セット内容

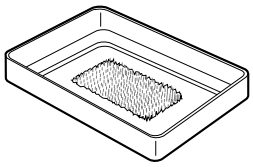
ランプボックス.....1台



電源コード.....1本

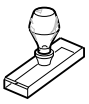


ブラシトレー.....1個

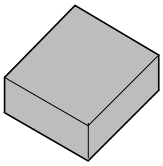


洗い出しパッド.....1個
(70㎜×90㎜)

スタンプ台木No.5 長方形
(25㎜×75㎜).....1個



スポンジ台木
(40㎜×110㎜×110㎜)....1個



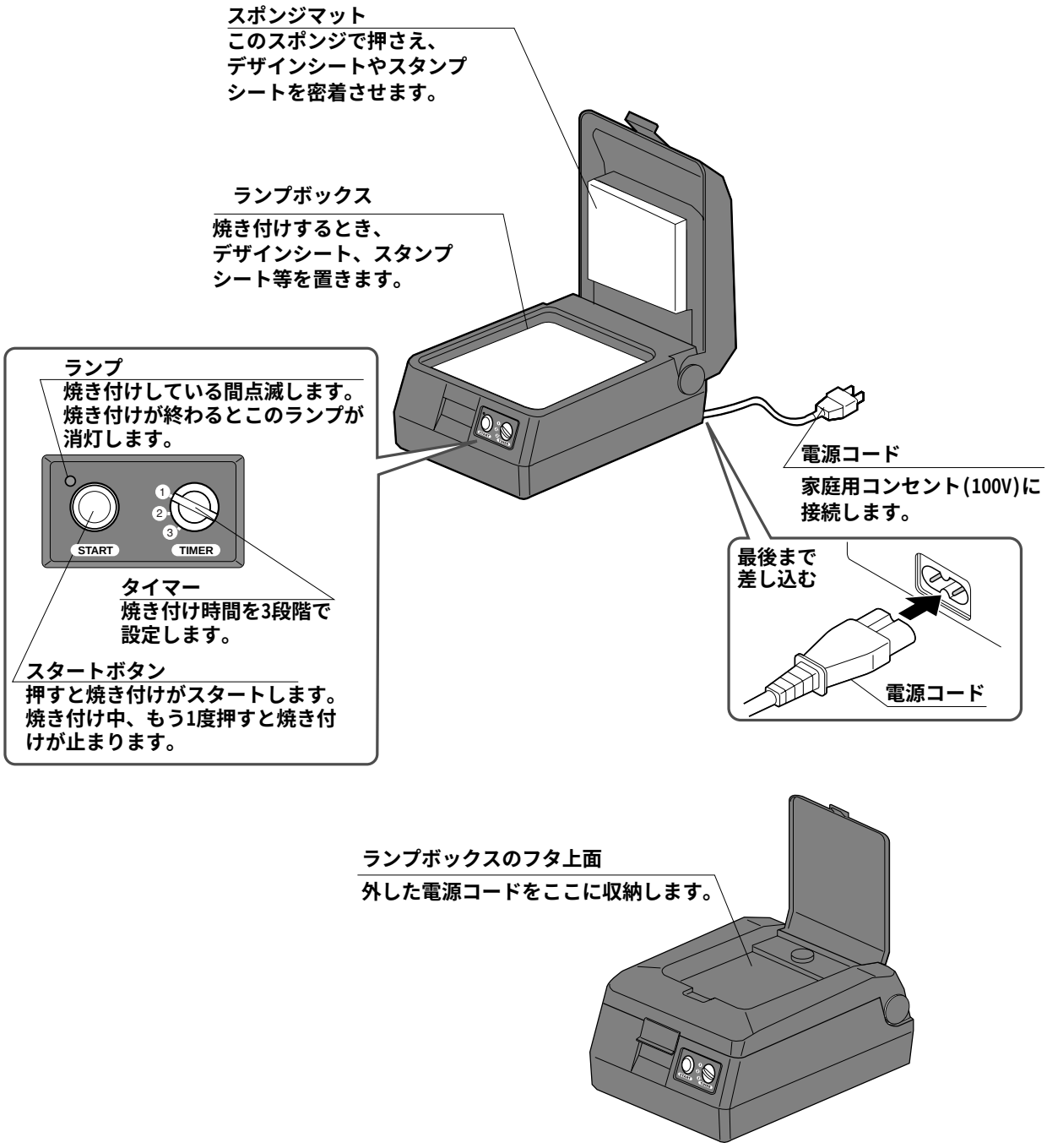
スタンプシート (105㎜×148㎜).....1枚
粘着シート (白色)(105㎜×148㎜)....1枚

デザインシート (105㎜×148㎜)..2枚

取扱説明書.....1冊

保証書.....1枚

各部のなまえとはたらき・仕様

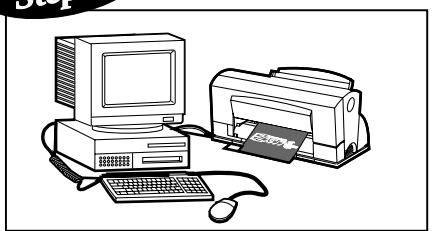


■仕様

名　　称	EZ スタンプ匠
最大スタンプサイズ	90mm × 70mm
露　　光	蛍光放電管（ブラックライト）6W1 灯
電　　源	AC 100V 50/60Hz 単相
本 体 寸 法	約 26(W) × 21(D) × 11(H)cm
質　　量	1.5Kg

スタンプのつくり方の概要

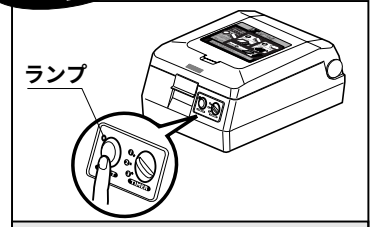
Step1



デザインシートづくり

➡ 9 ページで説明しています。

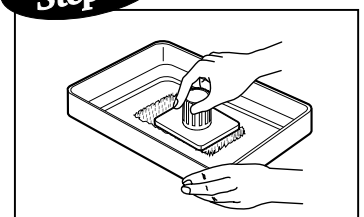
Step2



スタンプシートの焼き付け

➡ 10 ページで説明しています。

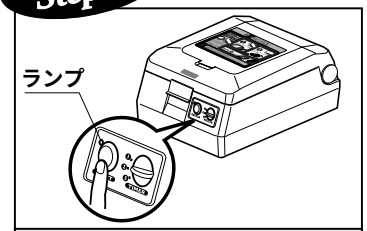
Step3



スタンプシートの洗い出し

➡ 12 ページで説明しています。

Step4

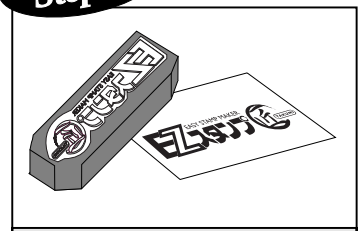


スタンプシートの仕上げ

スタンプシートを固めるために行います。

➡ 14 ページで説明しています。

Step5

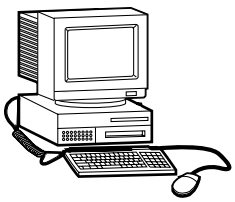


台木に貼り付け

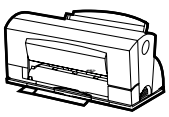
➡ 15 ページで説明していま

●用意するもの

パソコン

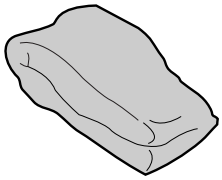


インクジェット
プリンター



ヘヤードライヤ

タオル



ハサミ

カッター

デザインシートをつくる

1 原稿をパソコンで作成します。

・ 文字や絵柄を必ず白黒反転させて作成します。

デザインのまわりに大きめの
黒ベタをつけてください。

ポイント

- **文字や絵柄は最大作成範囲（70mm x 90mm）より少し小さい 65mm x 85mm 以下に収まるように描くと、製作しやすくなります。**
- **文字の一部に細い部分がある書体（細明朝体など）は、きれいなスタンプができません。細い部分がないように文字の大きさや書体を選定してください。**
- **小さい文字は、ゴシック体などでデザインされることをお薦めします。明朝体などの書体では、細くなる部分ができるためきれいなスタンプになりません。**
- **細かいデザインのスタンプ作りは、スタンプ作りに慣れ（コツをつかんでから）作業されることをお薦めします。**
- **文字は 10 ポイント、線幅は 0.8mm 以上で原稿を作ってください。**

原稿の良い例

**文字が10ポイント以上
線・ベタを真っ黒にする
線幅は0.8㎜以上**

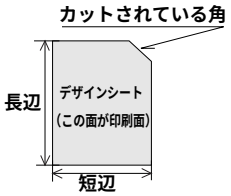
**この文字がちょうど10ポイント
です。参考にしてください。**

原稿の悪い例

**文字が10ポイント未満
ベタが薄い（黒色が薄い）
線幅は0.8㎜未満**

2 デザインシート表面にインクジェットプリンターで印刷します。

・ 付属のデザインシートを使用してください。
・ このシートには裏表があります。カットしている角を右上にしたとき、上面が印刷面です。
・ 一部を切り取ったシートを再度プリントしないでください。プリンタ故障の原因となります。
・ 同じプリンターであっても用紙設定や印刷モードによって印字品質が異なります。下記の設定でご使用いただくと良好な画像を得ることができます。



≪プリンター印刷設定≫

	用紙設定	モード設定	色設定
エプソン	写真設定	高精細	黒 / グレースケール
キヤノン	プロフォトペーパー	きれい	モノクロ / グレースケール

・ 使用するプリンターの機種により、濃淡の差が出ることがあります。その場合は各機種の取扱説明書に従い濃度調整を行ってください。
・ 印刷後、インクのにじみ、インクの汚れ（裏表）などが無いか確認してください。
・ 必ず、白黒で印刷してください。（カラー / グレー、グラデーションはきれいにスタンプができません。）
・ 印刷後すぐに次の焼き付け作業をしないでください。インクを十分乾燥させてから次の作業に移ってください。

注記

- **このシートはレーザープリンター、コピー機には使えません。レーザプリンターやコピー機を使用してネガを作る場合は、別売の「匠専用手描きセット」をお使いください。（詳しくは 17 ページ参照）**
- **開封後はなるべく早めにお使いください。未使用のシートは袋に入れて、高温多湿および直射日光を避け、シートがカールしないように水平にして保管してください。**
- **印刷後、保管する場合は印刷面に吸湿性のある普通紙などを重ねて、高温多湿および直射日光を避けて保管してください。**

これでデザインシートは完成です。

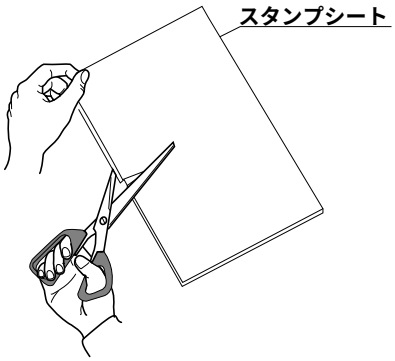
スタンプシートを焼き付ける

1 電源プラグを家庭用コンセントに差し込みます。

ポイント

・室温が 20 ℃以下のときは、ランプボックスを安定させるために、スタートボタンを押して 2 ～ 3 分間ランプを灯してください。このとき、ランプボックスのフタは閉じてください。また、未使用のスタンプシートには絶対光があたらないようにしてください。

2 ハサミを使ってスタンプシート（半透明）をデザインシートと同じ大きさに切り取ります。



重要

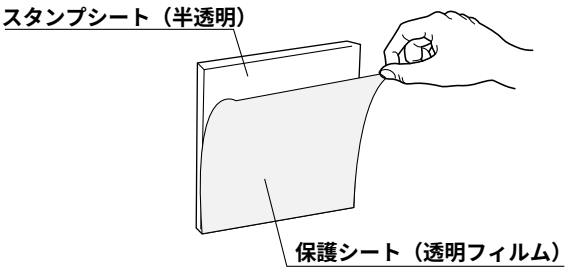
1 つの袋にスタンプシートと粘着シートが 1 枚ずつ入っています。間違えないように注意してください。

スタンプシート　⇒半透明シート
粘着シート　⇒茶色の紙のついたシート

⚠ 注意

・日中窓のある部屋では紫外線を防ぐブラインド・カーテン（厚手）をして作業をしてください。紫外線が当るとスタンプシートが感光してしまいます。
・水銀灯、ハロゲンランプ、ビームライト、スポットライト、外来光の入る（ 窓のある部屋 ）ところで焼き付け作業はしないでください。
・使わないスタンプシートはすぐに袋にもどしファスナをしめて高温多湿にならないところで保管してください。

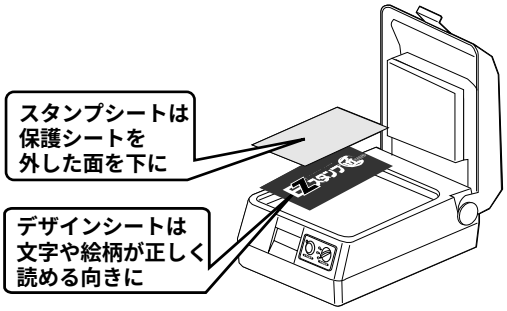
3 スタンプシートの保護シートをはがします。



4 デザインシートの上にスタンプシートを重ね、ランプボックスにセットします。

・ デザインシートは文字、絵柄が正しく読める向きに置きます。
・ スタンプシートは保護シートをはずした面を下にして置きます。

ポイント
・ スタンプシートとデザインシートの向きに注意してランプボックスにセットします。



5 ランプボックスのフタはパチンと音がするまでしっかりしめます。

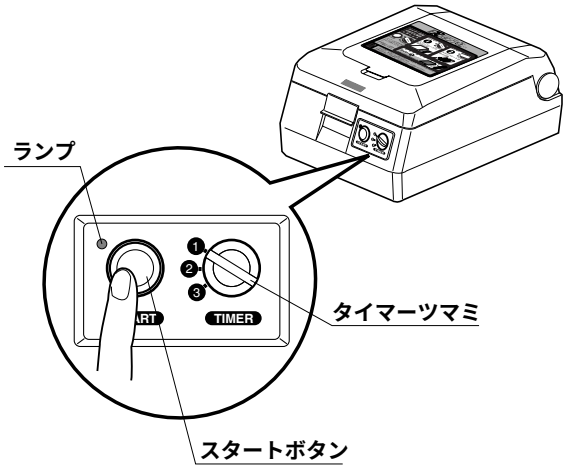
⚠ 注意

フタをあけたままランプを灯さないでください。ランプから紫外線が出ています。目を悪くする可能性があります。

6 タイマーツマミを ① にセットします。

7 スタートボタンを押します。

⇒ランプが点滅し、焼き付けが始まります。

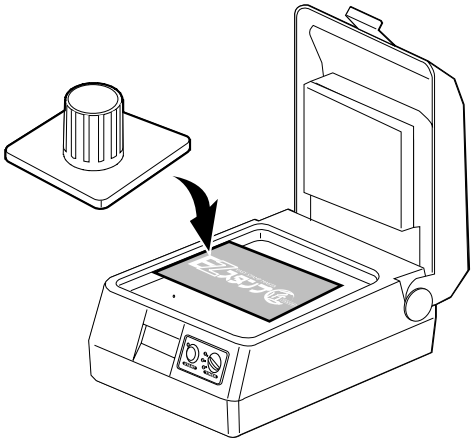


スタンプシートを洗い出す

1 焼き付けが終わり、ランプが消えたら、洗い出しパッドをスタンプシートに貼り付けます。

・ 洗い出しパッドの裏面の保護紙をはずして、スタンプシートの上にのせます。
・ 密着するように洗い出しパッドを手で軽く押さえつけます。
・ デザインシートをはずします。(デザインシートは繰り返し利用できます。)

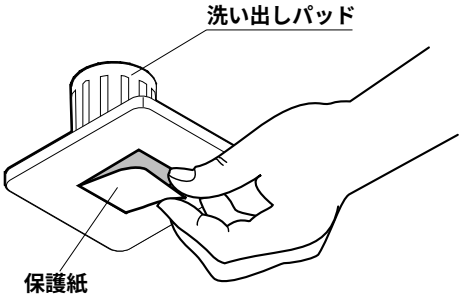
ポイント
・ **接着は、スタンプシートの一部が接着されないような位置で行うと、スタンプシートをはずすときにはずしやすいです。**



洗い出しパッドを初めてお使いのとき

接着面に保護紙が貼ってあります。保護紙をはずして、スタンプシートの上面にパッドを貼り付けます。(保護紙は、洗い出しが終われば、接着面に再び貼って保管しますので、捨てないでください。)

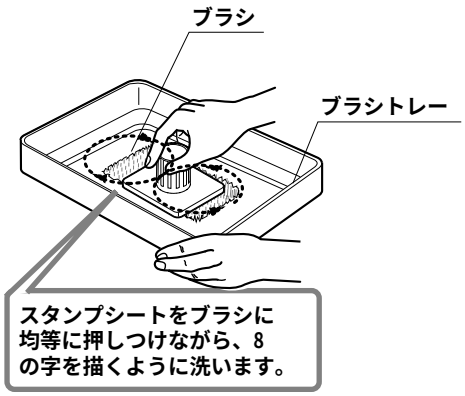
接着は 5 ～ 6 回できますが、接着が弱くなれば、別売の「洗い出しパッド用粘着テープ」をご購入の上、貼り替えてください。



2 ブラシトレーに、水をブラシの先端が水に浸かるまで入れ、洗い出しパッドをブラシの上で 8 の字に水平に動かして洗い出します。

➡ スタンプシートの樹脂層が溶けて乳白色に水が濁っていきます。

重要
・ **洗い出しは 3 分以内で行ってください。**
・ **ブラシに強く押し付けないようにして洗ってください。**
・ **デザインシートはトレーの中に入れないでください。**



ポイント

デザインシートの再使用

焼き付け後のデザインシートは、折り曲げたり傷つけないよう保管すれば、再度使用できます。(新しいスタンプシートと焼き付ければ、同じデザインのスタンプをつくることがことができます。

3 洗い出しが進むと、絵、文字がはっきりと現れてきます。洗い出しを続けて乳白色部分がなくなれば、洗い出し完了です。

ポイント

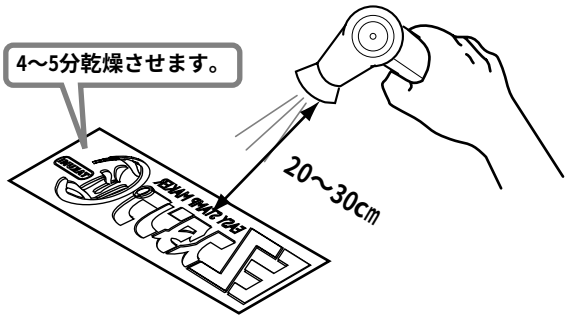
・細かい文字、絵柄を洗い出しするときは図柄のまわりに少し乳白色部が残るぐらいが洗い出し完了の目安です。

4 洗い出しが終れば、洗い出しパッドを取りはずし、スタンプシートの水分をタオルなどで、軽くたたくように余分な水分を取り、ヘヤードライヤで乾かしてください。

・ヘヤードライヤを 20 ～ 30 cm 離して、4 ～ 5 分温風乾燥します。（乾燥してくると乳白色部分は、透明になります。それが乾燥の目安です。）

注記

・ヘヤードライヤを近づけすぎると、スタンプシートが溶けたり形がくずれたりします。



ポイント

・乳白色の部分は、粘りがありますので、タオルなどで強くこすらないようにしてください。タオルの繊維が付いたり、形がくずれたりします。
・洗い出し後、そのまましておくと、文字・絵柄がくずれてきます。
・水中に放置すると、水分で絵柄が溶けてしまいます。

⚠ 警告

・取扱い後は手洗いを十分行ってください。（アレルギー体質、かぶれやすい人は保護手袋を着用してください。）
・洗い出しパッドからスタンプシートを取りはずすときは、スタンプシートの端で指先を切らないように注意してください。

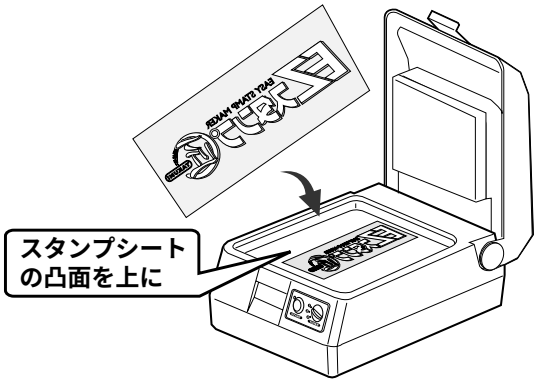
使用後のブラシトレーは…

・ブラシトレーのブラシはよく洗ってから自然乾燥してください。
・ブラシトレーのブラシの上に物を置いたりしてブラシが倒れると、洗い出しができなくなります。ご注意ください。

スタンプシートを仕上げる

スタンプシートをもう一度焼き付けし、スタンプシートを固めます。

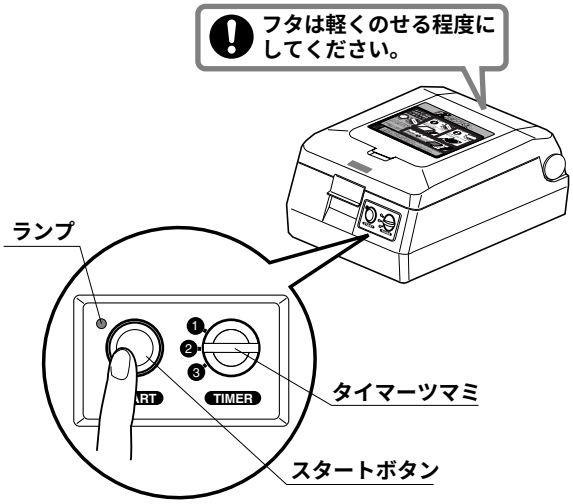
1 よく乾燥させたスタンプシートをランプボックスにセットしてください。



ポイント

- よく乾燥させてから仕上げをしてください。乾燥不足の状態では、スポンジマットにスタンプシートの成分が付着して焼き付け時の密着不良の原因となります。
- 文字・絵柄の部分を完全に固めるためにもう一度焼き付けします。このとき、フタは軽くのせるようにします。

2 タイマーツマミを ② にセットします。



3 スタートボタンを押してください。

⚠ 警告

ランプを見つめないでください。ランプから紫外線が出ています。目を悪くする可能性があります。

4 ランプが消えればスタンプ版のできあがりです。

⚠ 注意

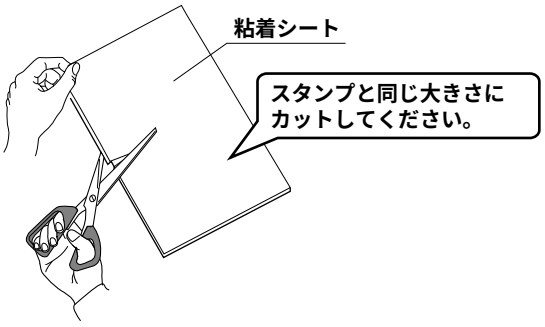
・ランプボックスの使用が終われば、電源プラグをコンセントから抜いてください。
・使用後は、ランプボックスのフタは軽くのせるだけにしてください。
（パチンと音がするまでしっかりとしめると、スポンジマットが変形して密着度が悪くなります。）

ポイント

- 仕上げを行うと、スタンプシートが黄色に変色しますが、機能上差し支えはありません。

台木に貼り付ける

1 付属の粘着シートをスタンプ版と同じ大きさにカットしてください。
（粘着シートはスタンプシートの袋の中に同梱されています。）



重要

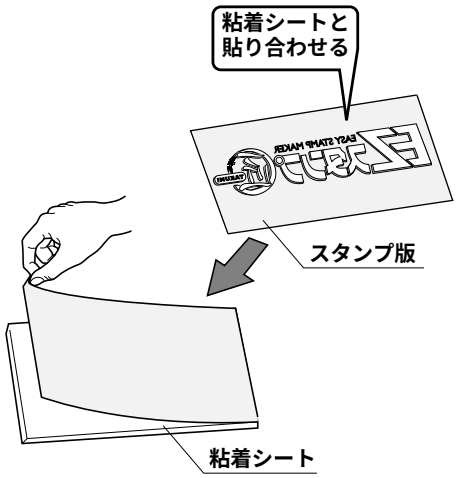
1つの袋にスタンプシートと粘着シートが1枚ずつ入っています。間違えないように注意してください。

スタンプシート　⇒半透明シート
粘着シート　⇒茶色の紙のついたシート

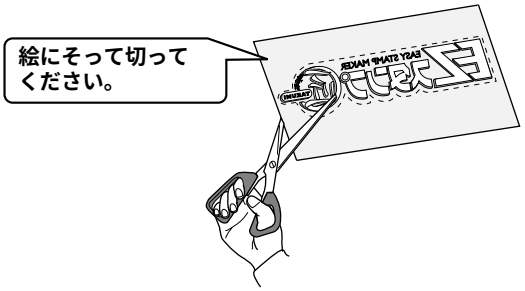
ポイント

- **粘着シートはスタンプをきれいに押すために必要です。**

2 粘着シートの片面の台紙をはがし、スタンプ版の裏に貼り付けます。

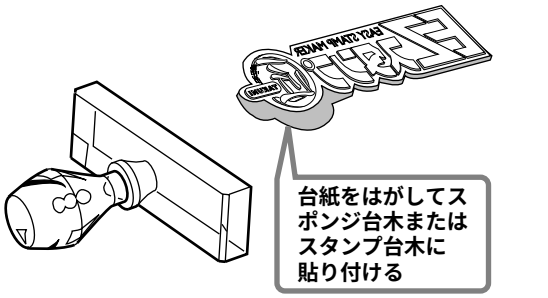


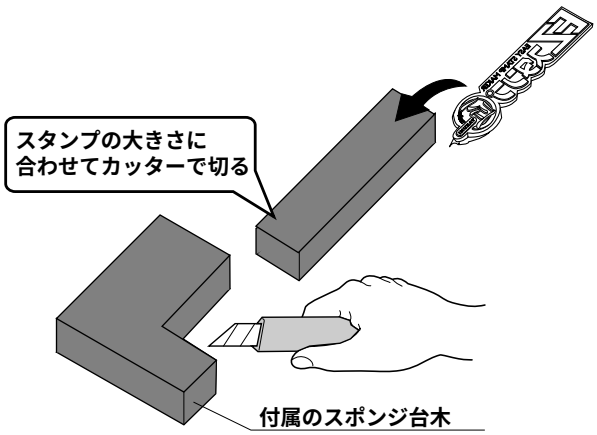
3 スタンプ版の余分な部分を切り取ります。



4 スタンプ版に貼り付けた粘着シートのもう片方の台紙をはがし、スタンプ台木またはスポンジ台木に貼り付けます。

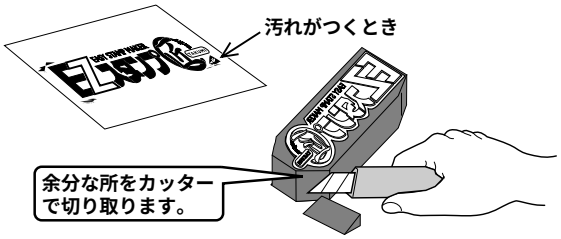
・ スタンプ台木、スポンジ台木はスタンプの大きさに合わせて使い分けてください。





ポイント

・ スポンジ台木はスタンプ版の大きさに切ってください。
平らな面に、スタンプ版を貼り付けてください。
（貼り付ける面が平らでないと、きれいにスタンプが押せません。）
・ スタンプして汚れがつくときは、カッターで余分な所を切り取ってください。



作成したスタンプは…

・ 出来上がったスタンプの印面は、水につけないでください。印面がくずれる場合があります。

・ 作成したスタンプは日数がたつと、表面が紫色に変色する場合がありますが、問題ありません。

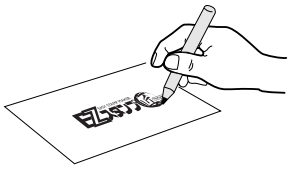
・ 水性スタンプインクをご使用の場合は、スタンプ後、スタンプ印面についたインクを乾いた布などでふきとってください。
（そのままにしておくと、印面がやわらかくなることがあります。）

・ 長時間連続してスタンプする場合は、油性スタンプインクのご使用をお勧めします。

手描きイラストなどをスタンプにするとき(匠専用手描きセットの使い方)

※「匠専用手描きセット」はオプションです。

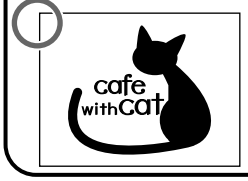
1 専用原稿用紙に黒ペンで原稿を描いてください。



ポイント

- 文字は 10 ポイント、線幅は 0.8mm 以上で原稿をつくってください。
- 黒くはっきりと輪郭が出た原稿をつくります。鉛筆は不向きです。
- 筆記用具は顔料系インクでにじみの少ないペンで描くときれいな原稿ができます。
- 小さい文字は、ゴシック体などでデザインされることをお薦めします。
  明朝体などの書体では、細くなる部分ができるためきれいなスタンプになりません。
- 細かいデザインのスタンプ作りは、スタンプ作りに慣れ（コツをつかんでから）作業されることをお薦めします。
- 文字や絵柄は、最大作成範囲（70mm x 90mm）より少し小さい 65mm x 85mm 以下に収まるように描くと、製作しやすくなります。
- 文字の一部に細い部分があると、きれいなスタンプができません。細い部分がないように文字の大きさや太さを考慮します。
- 原稿は光を通さないマジックペンで黒く描いてください。原稿がうすかったり、かすれていると光を通すので、描いた通りの版ができません。

原稿の良い例



文字が10ポイント以上
線・ベタを真っ黒にする
線幅は0.8㎜以上

この文字がちょうど10ポイント
です。参考にしてください。

原稿の悪い例

文字が10ポイント未満
ベタが薄い（黒色が薄い）
線幅は0.8㎜未満

注記

- 用紙は専用原稿用紙をお使いください。再生紙、上質コピー紙、厚紙、ケント紙、感熱紙など専用原稿用紙以外の紙は使えません。
- 専用原稿用紙は、レーザープリンター / コピー機にも使用できます。この用紙に出力してください。

2 できた原稿を明かりに照らして、描いた図柄から光が漏れる場合は黒く塗り重ねてください。

3 本体の電源プラグを家庭用コンセントに差し込みます。

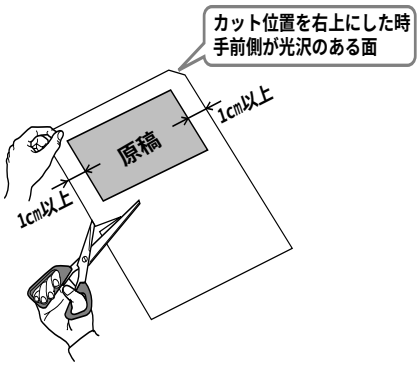
ポイント

・室温が 20 ℃以下のときは、ランプボックスを安定させるために、焼き付け作業の前にスタートボタンを押して 2 ～ 3 分間ランプを灯してください。このとき、ランプボックスのフタは閉じてください。また未使用のオレンジシートには絶対光があたらないようにしてください。

4 オレンジシートを原稿の絵柄より 1cm 以上大きめに切り取ります。

ポイント

・オレンジシートは大変デリケートなシートです。爪などで傷つけないよう、取扱いは十分気をつけてください。
・日中窓がある部屋ではブラインド・カーテン（厚手）をして作業をしてください。紫外線が当るとオレンジシートは感光して使えなくなります。



⚠ 注意

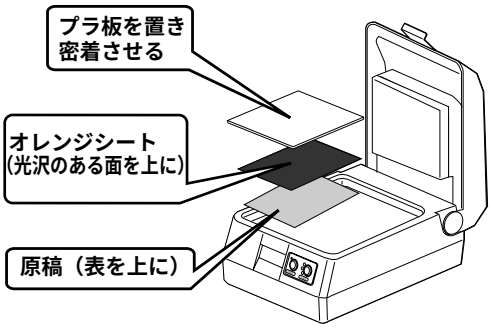
水銀灯、ハロゲンランプ、ビームライト、スポットライト、外来光の入る（窓のある部屋）ところで作業はしないでください。

⚠ 注意

使わないオレンジシートはすぐに袋にもどしファスナーをしめて高温多湿にならないところで保管してください。

5 下から原稿、オレンジシート、プラ板の順にランプボックスにセットします。

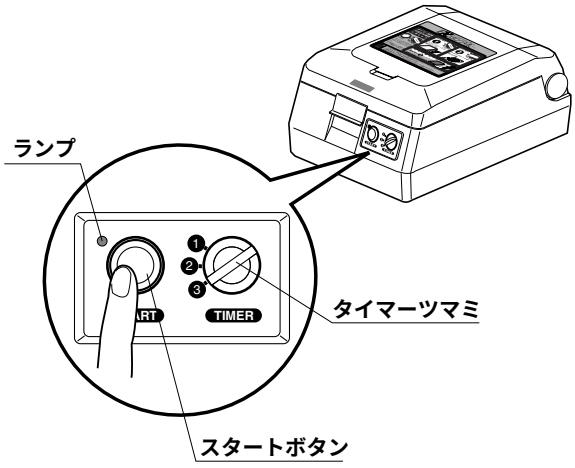
・原稿は文字、絵柄が正しく読める向きにおきます。
・オレンジシートは光沢のある面を上にして原稿の上におきます。表裏を逆にしておくと焼き付けできません。



6 ランプボックスのフタはパチンと音がするまでしっかりしめます。

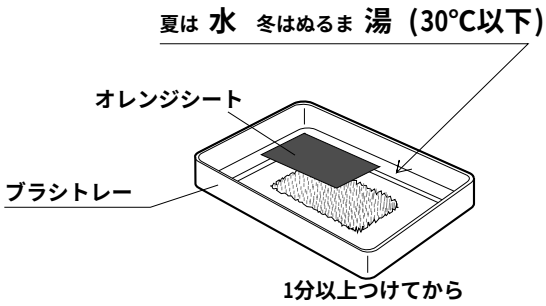
> ⚠ 警告
>
> フタをあけたままランプを灯さないでください。ランプから紫外線がでています。目を悪くする可能性があります。

7 タイマーツマミを ③ にセットします。



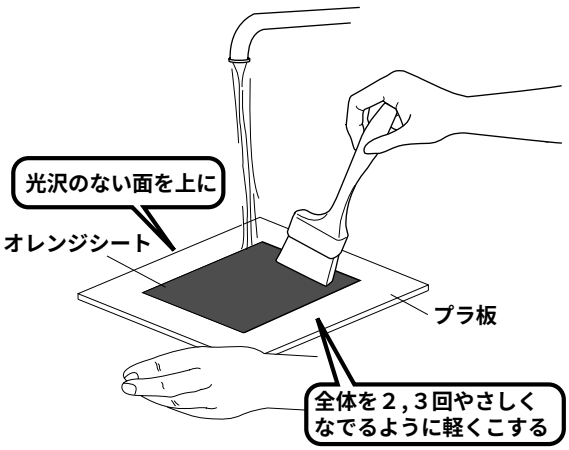
8 スタートボタンを押します。
➡ ランプが点滅し、焼き付けが始まります。

9 ランプが消えたら、フタを開け、オレンジシートを取りだし、ブラシトレーに水（冬はぬるま湯）を入れ、その中に 1 分間以上つけます。



10 プラ板にオレンジシートの光沢のない面を上にしてのせます。

11 必ず水を少し流しながら（激しく流さないように）ハケで 2、3 回やさしくなでるようにして洗い出します。
図柄部分のオレンジシートが抜け、透明になります。



ポイント

①図柄のまわりに少しギザギザが生じることがあります。
②<u>4回以上こすると、絵柄が崩れてしまいます。</u>
③水圧が強すぎたり、ハケで強くこすると絵柄がくずれ、透明のフィルムになってしまうことがあります。
④くずれてしまった場合は、再度作り直してください。

12 ティッシュ等で水分を軽くふきとります。

・ プラ板からオレンジシートを外し、（傷つけないように注意！！）ティッシュ等で水分をふきとります。

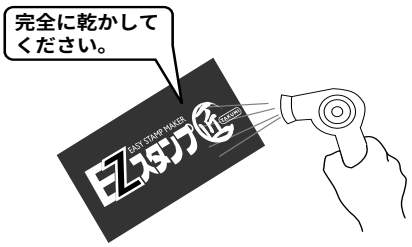
ポイント

・ オレンジシートを指や爪でこすると絵柄がくずれます。強くこすらないでください。
・ この段階では、塗膜が軟化しているので取扱いには十分注意してください。

13 ヘヤードライヤでオレンジシートを乾かします。

⚠ 警告

取扱い後は石鹸で手洗いを十分行ってください。



これでオレンジシートは完成です。
この後の作業は 10 ページからの手順と同じです。
デザインシートの代わりに、オレンジシートを使用して焼き付けを行いましょう。

スタンプがうまくつくれなかったとき

全体または一部が固まって、洗ってもおちないとき。

原因その１

・ デザインシートの印刷状態が悪く、黒色がうすかった？

対策1 ・ デザインシートは必ず白黒で印刷してください。

原因その２

・ スタンプシートに外来光があたって、感光してしまった？
・ 水銀灯、ハロゲンランプ、ビームライト、スポットライトの近くで作業していた。

対策2 ・ 水銀灯、ハロゲンランプ、ビームライト、スポットライト、外来光の入る（窓のある部屋）ところで焼き付け作業はしないでください。

原因その３

・ スタンプシートが劣化していた？
・ デザインシートとスタンプシートの密着が悪かった？

対策3 ・ スタンプシートは購入後6か月以内にお使いください。
・ ランプボックスのフタは、パチンと音がするまでしっかり閉めます。

スタンプの一部がくずれてしまったり、波打っているとき。

原因その１

・ 熱すぎるお湯で洗った？

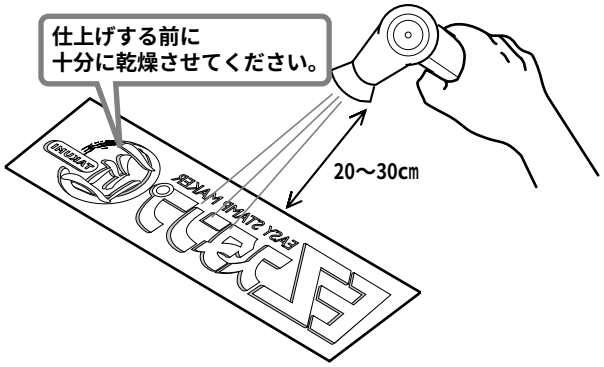
対策1

原因その２

・長時間スタンプシートを水につけていた？
・洗い出し後、そのまま放置していた？
・３分以上洗い出しを行った？

対策2

・洗い出し後ただちに、タオルなどで水分を取り、ヘヤードライヤで乾燥してください。乾燥は表面だけでなく、水を吸った内部にも必要です。洗い出しが不十分な乳白色が透明になるのを目安としてください。



原因その３

・スタンプシートを洗い出すとき強くこすりすぎた？

ポイント
・細かい絵柄、文字部分は、少し乳白色部分が残る位で、洗い出しを完了します。

対策3

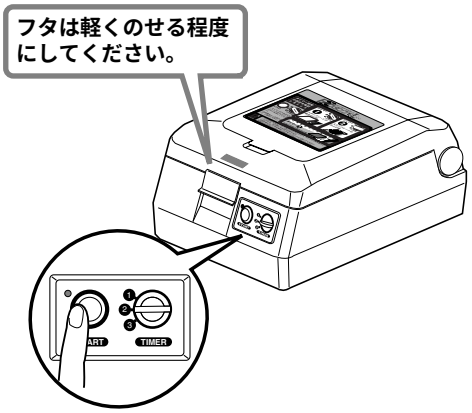
スタンプがうまくつくれなかったとき

原因その４

・スタンプシートの仕上げをしていない？

対策4

・文字、絵柄がくずれないように必ず仕上げをします。

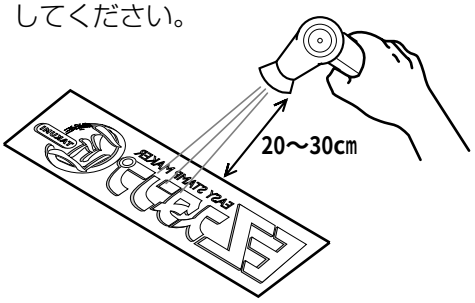


原因その５

・ヘヤードライヤを近づけすぎた？

対策5

・乾燥するときに、ヘヤードライヤを近づけすぎると、スタンプシートが溶けて印影がくずれます。必ず 20 ～ 30cm 離して乾燥してください。



EZ スタンプ匠の消耗品と別売品

●スタンプシート／粘着シート

A6(105㎜×148㎜) 各1枚入

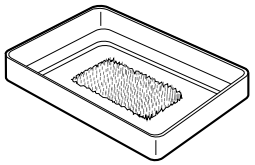
924円

●デザインシート

A6(105㎜×148㎜) ５枚入

504円

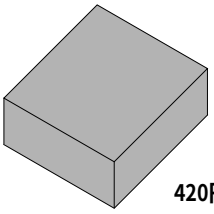
●ブラシトレー



2,100円

●スポンジ台木

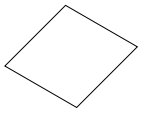
（40㎜×110㎜×110㎜）



420円

●洗い出しパッド用粘着テープ

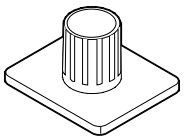
５枚入（50㎜×60㎜）



315円

●洗い出しパッド

（70㎜×90㎜）
（両面テープ2枚付属）



525円

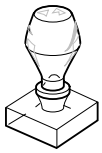
●スタンプ台木1（正角型）

（21㎜ x 21㎜）

315円

●スタンプ台木2（正角型）

（24㎜ x 24㎜）



315円

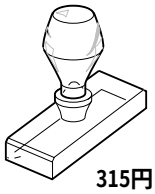
●スタンプ台木3（丸型）

（21㎜）

315円

●スタンプ台木4（長方形）

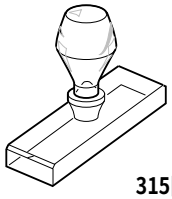
（25㎜ x 60㎜）



315円

●スタンプ台木5（長方形）

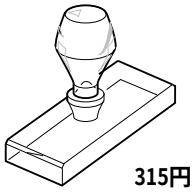
（25㎜ x 75㎜）



315円

●スタンプ台木6（長方形）

（30㎜ x 75㎜）



315円

※以下の商品は、手描きで原稿を作成する場合に使用します。

●匠専用手描きセット

手描き原稿用紙A5 10枚
オレンジシートA6 2枚
ハケ、プラ板

998円

●EZスタンプ手描き用原稿用紙

A5 50枚入

158円

●オレンジシート

A6(105㎜×148㎜) 2枚入

504円

●ハケ

315円

※表示価格は全て税込価格です。